

ミヤコシ MJP20MX-7000 を drupa で

次世代高解像度インクジェットプリンター 年内リリースを計画

- グラフィック系印刷物にも対応する品質で -

ミヤコシ(代表取締役社長:宮腰巖)は、次世代高解像度インクジェットプリンター「MJP20MX-7000」を開発、drupa2012 で初出展する。

同機の特徴は 1200×1200dpi の高解像度のプリントヘッドを搭載し、最大で片面 8 色 (CMYK+特色 4 色) を両面印字することができ、さらに水性のインクを使用しながら直接グロスコート系の用紙に印字することが可能となる点にある。

産業用インクジェットプリンターは、今まで比較的トランザクションや DM(ダイレクトメール)等のアプリケーションに使用されることが多く高速化が求められる傾向が強かったが、今回発表する 1200dpi の高解像度インクジェットプリンターではグラフィックアーツ系のアプリケーションにも対応可能な高印字品質を実現する。

またハイスピードモードでは最高速度 320m/分で印字可能で、高速化のニーズにこたえる事が可能である。

前回の drupa2008 より各メーカーが産業用インクジェットプリンターを発表して行く中で、ユーザーのニーズは高速化と高品質化の 2 極化の傾向が見られることから、この新製品では 1200dpi での高解像度品質および高速印字の両方のスペックを兼ね備え、様々なアプリケーションに対応することを可能としている。drupa2012 終了後、年内リリースに向けて準備を進めている。

出展装置の主な仕様は次の通り。

▽印刷方式 : ピエゾ式ドロップオンデマンド方式ラインヘッド

▽インク : 水性染料、水性顔料(新開発)

▽最大印字幅 : 508.0mm

▽最大用紙幅 : 520.7mm

▽最大色数 : 8 色/8 色(低速モード時)・6 色/6 色(高速モード時)

▽印字速度(解像度)

低速モード: 80m/分(1200×1200dpi)、100m/分(1200×690dpi)、160m/分(1200×600dpi)

高速モード: 160m/分(1200×1200dpi)、200m/分(1200×690dpi)、3200m/分(1200×600dpi)

(2012 年 04 月 20 日 印刷タイムス 掲載)